



Laurus の翼

令和7年6月24日(火)

【第7号】

文責 校長 高宮 裕

教室を飛び出せ！地域には勉強になることがいっぱい！

今月は教室を飛び出し、地域で勉強をすることが多くありました。「百聞は一見に如かず」まずは自分たちの目で見て、耳で聞いて、肌で感じる事が一番の学びになります。この後、6年生は修学旅行、5年生は宿泊学習が待っています。準備等お世話になりますが、豊かな学びになるようご協力よろしくお願いします。



1年生は生活科の時間に学校の近くの公園におでかけしました。遊具で遊んだりクローバーを探したりと楽しい時間を過ごしました。



3年生は社会科の時間に宝来屋とスペースパークに見学学習へ。宝来屋では日ごろ食べている味噌を作る様子を見学。お土産も頂きました。

2年生は生活科の時間にまち探検に出かけました。第1弾は岩瀬書店や山道公園を。学校の周りにどんな施設があるか学んでいきます。



4年生は郷土を学ぶ学習で富久山クリーンセンターと荒井浄水場へ。自分たちの生活を支える施設の仕組みについて見学して学びました。



楽しいプール学習はじまりました！



6月の中旬には気温も高くなり、いよいよプール学習が始まりました。先週には全学年がプールに入ることができました。安全に楽しいプール学習になるようにしたいと思います。水着等の準備がありますがご協力のほどよろしくお願いします。

学校運営協議会が開催されました



6月16日に学校運営協議会が開催されました。会では学校の取り組みなどを報告するとともに課題を共有させていただきました。その後6年生の授業を参観して頂きました。地域の方々からご意見を頂き、地域に根差した学校運営に努めていきます。

「いやなものはいや」と言える子どもを育てるように

子どものコミュニケーション力を高めるために「ソーシャルスキルトレーニング」がありますが、もともとはアメリカで「いやなものはいや」「ダメなものはダメ」としっかり断る力を身に付けるために開発されたものです。子どもたちの生活には、自分の意思表示をする場面が多々あります。「いやだよ」と断る力「ごめんね」と謝る力「いいよ」と許す力など、コミュニケーションの型を通して人間関係を築いていくことが望ましい社会性を身に付けることとなります。自分の意思を自分の口で相手に伝える場があることは大切な教育ですね。